一般社団法人 SHIPひきこもりと共生社会を考えるネットワーク主催

「SHIP! SPACE」講座 学びと実践

ひきこもり・生きづらさ・社会課題を考え、発信する
ライター・編集実践講座

現場を知るベテラン講師たちとワークや質疑応答を交えながら、当事者目線を大事に
洞察力、観察力、考察力を身につけ、社会を見つめる視点を学び、発信力を習得します。

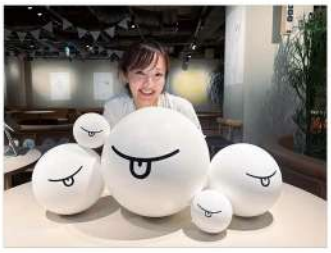
第9回、第10回

ひきこもり、生きづらさ、私たちの社会課題
見えなかったものに光を当て、当事者発信のあり方を学ぶ

2月26日（木） 18：00～20：30
カメラを回す前に必ず押さえておくべき映像制作の基本

講師 清川 玲奈（きよかわ れな）

映像プロデューサー／ディレクター



2011年より映像制作の現場に従事。技術職を経て制作へ転向し、テレビの情報番組や報道、ドキュメンタリー番組の制作に深く携わる。2021年に独立。現在はYouTubeやライブ配信など活動の場を広げている。企画から現場での取材・演出・編集経験を軸に、「社会課題や小さな声を、いかにして無関心層に届けるか」を自身のテーマとして探求。本講座では、市民の視点で社会に発信する際の技術と倫理について共有する。夢はマット・デイモンと仕事をすること。

◆本講座のねらい◆

スマホひとつあれば、誰もが「一人放送局」として世界に発信できる時代。2010年「アラブの春」、2013年「BlackLivesMatter」のような社会変革を巻き起こした力は、今、私たちの手の中にある。しかし、誰もが発信できるからこそ、無意識の偏見や誹謗中傷、AIによるフェイクといった複雑な課題とも向き合わなければならない。本講座では、長年現場にいる講師から「カメラを回す前に必ず押さえておくべき映像制作の基本」を学ぶ。情報を読み解く力、被写体との距離、インタビュー術、構図やアングルが与える印象など、実践的なエッセンスを解説。社会課題を映像で伝えるための視点を学び、あなたらしい表現で一歩を踏み出すヒントを、ここで一緒に見つけてみよう。

3月26日（木） 18：00～20：30
発信が自分たちの社会を変えていく

講師

池上 正樹（いけがみ まさき）

「SHIP!」共同代表、ジャーナリスト。約30年ひきこもり関係を取材し数千人の当事者たちと関わる。NHKドラマ監修のほか、メディア出演・著書・講演会出演多数。

上田 理香（うえだ りか）

「SHIP!」共同代表、コーディネーター。家族会立ち上げ、ピアサポーター研修、対話交流会事業を10年以上実施してきた。相談事業・講演会出演多数。

◆本講座のねらい◆

「見えなかったものに光を当てる」SHIP!は、社会への違和感、「なぜ?」の問いを大切にしながら自分にしか語れない経験、痛み、心の揺らぎ、主体的な思いを大切にしている。当事者、経験者の視点には、私たちが生きやすい社会、学校、職場、家族関係のヒントが必ずある。ライター講座最終回では、SHIP!編集部を立ち上げた発行人の池上正樹と上田理香とともに、当事者発信のあり方について、受講生の皆さまとSHIP!発行人や編集部員が一緒に対話をしながら考える時間を作る。SHIP!の編集は、生きづらさを抱えながら、支え合い、学び合い、助け合いのなかで進んでいく。だから対話を大事にする。表現、発信の場づくりに関心のある皆さま、ぜひ参加してみませんか?

受講費		
	一般	1回 4,000円（税込）
	ひきこもり・生きづらさ当事者・経験者・会員	1回 2,000円（税込）

2月26日（木）、3月26日（木）ともに
リアル会場とオンラインのハイブリッド開催

※お申し込み〆切は、各講座の3日前です。
※プログラムの内容は変更になる場合があります。予めご了承ください。

リアル会場 渋谷区地域共生サポートセンター〈結・しぶや〉
渋谷区桜丘町23-21 渋谷区文化総合センター大和田9F

受講には「SHIP!」購読または会員登録が必要です。

お申込、詳細はコチラ➡